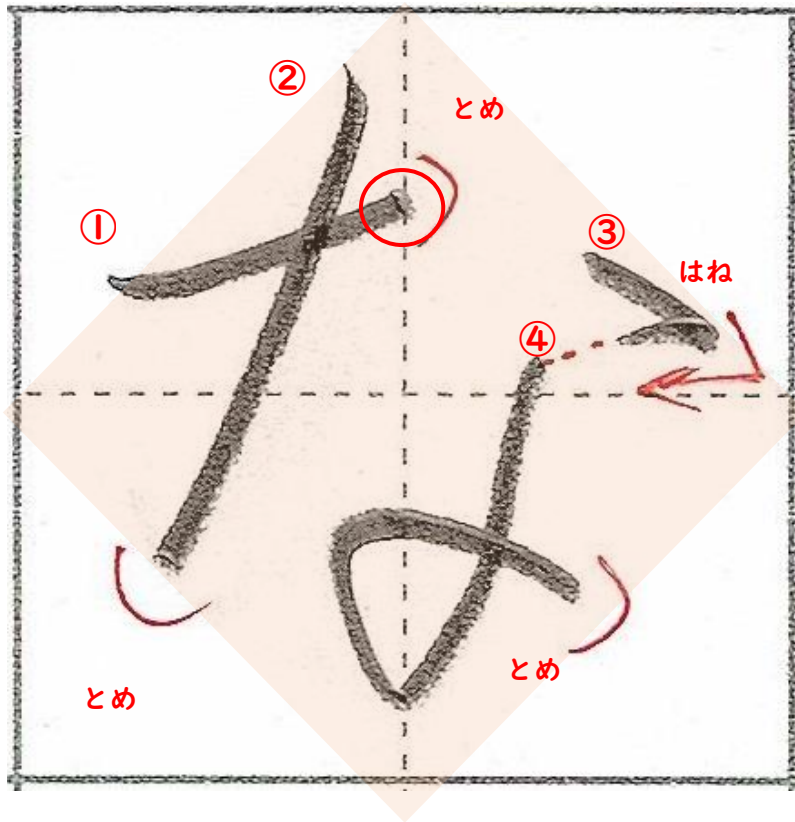
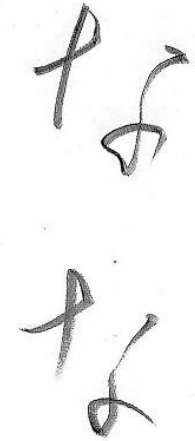
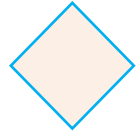


# 「な」のポイント

●くずした字



●ぜんたいてき 全体的な形 かたち



がた ひし形

○は、マスの  
ちゆうしんせん 中心線とだいた  
い重なるところ。  
ここをめあてに、  
字の形をとりま  
しょう。

●もと 元になった漢字 かんじ

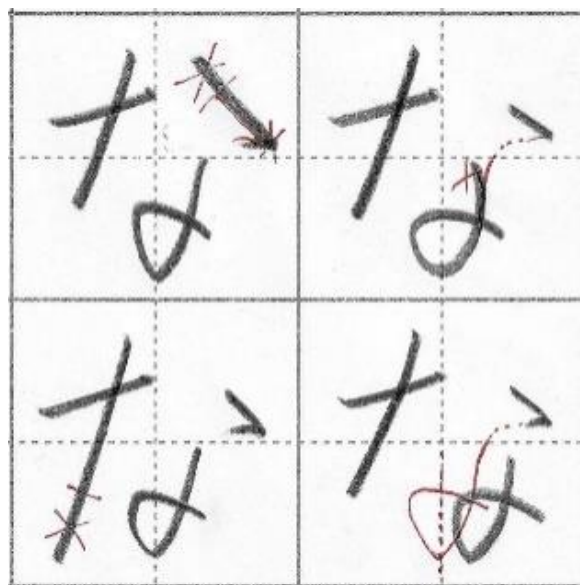
「奈」



●こうならないように注意

◎3画目、かくめ 短く。

◎2画目、かくめ のはしすぎない。

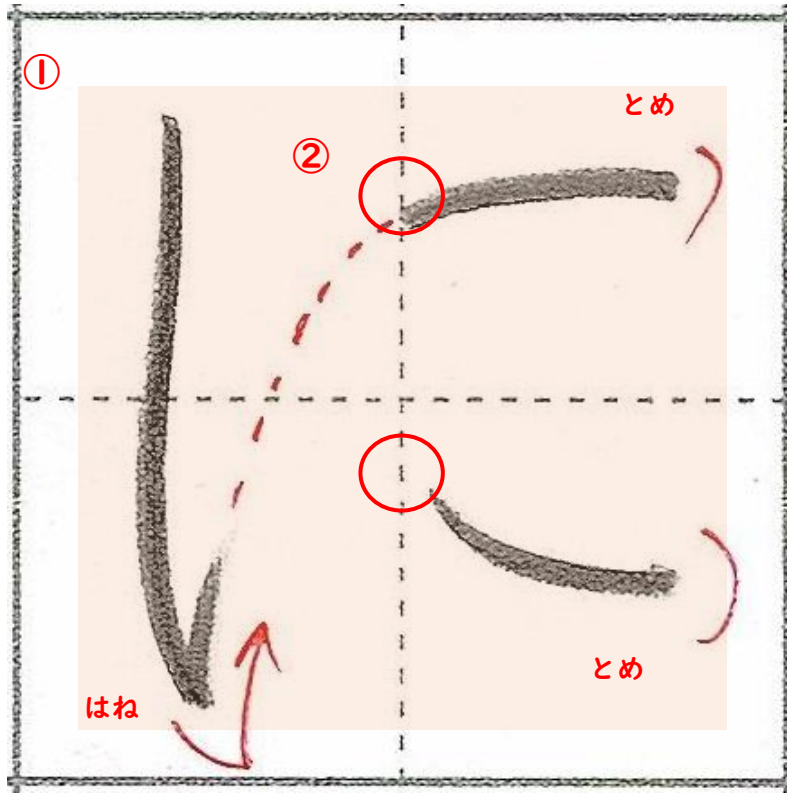


◎3画目のはねと4画目  
を自然につなげる。

◎4画目、丸めるところが  
左右のまん中にくるように。

# 「に」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形



せいほうけい  
正方形

○は、マスの中  
心線とだいた  
い重なるところ。  
ここをめあてに、  
字の形をとりま  
しょう。

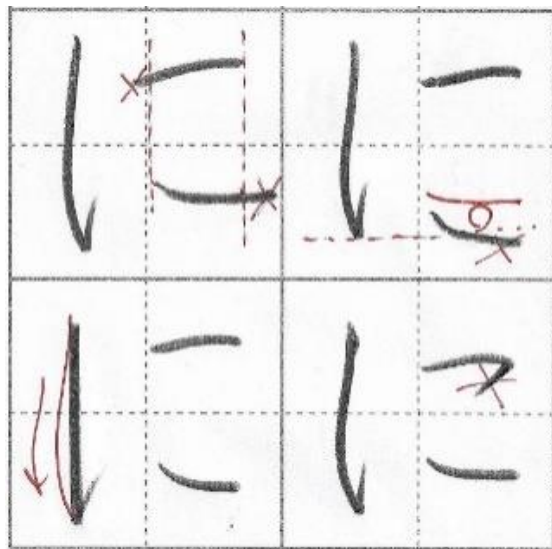
●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

「仁」



●こうならないように注意

②、③画目が上下に  
左にへんがらむ。  
①画目、ゆるやかに

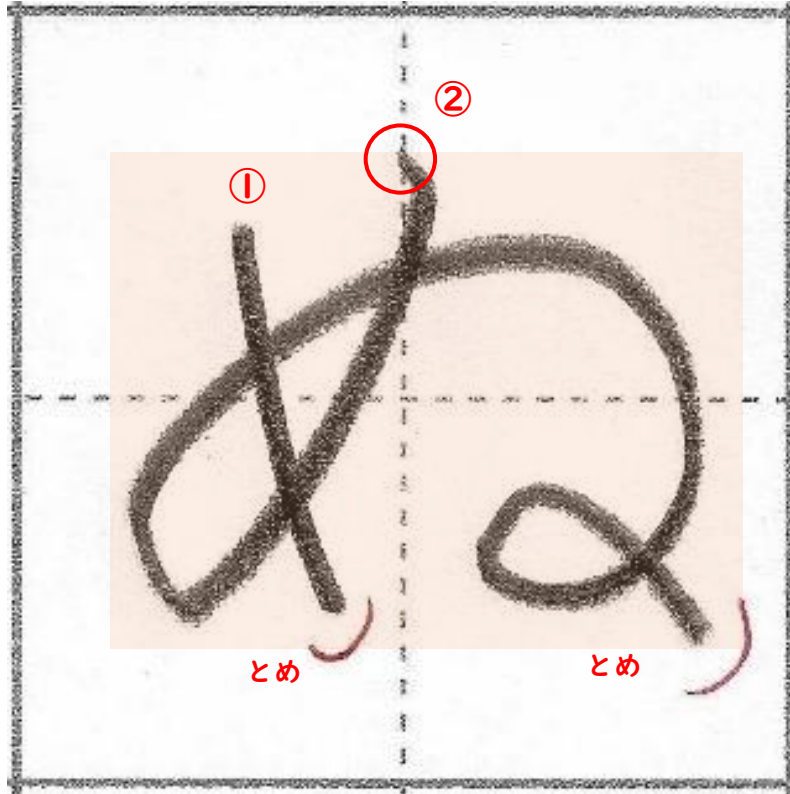


③画目は、一画目  
のはねより上に。

②画目、はねない。

# 「ぬ」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形



<sup>よこなが</sup> <sup>ちようほうけい</sup> 横長の長方形

○は、マスの中心線とだいたい重なるところ。ここをめあてに、<sup>じ</sup> <sup>かたち</sup> 字の形をとりましょう。

●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

「奴」



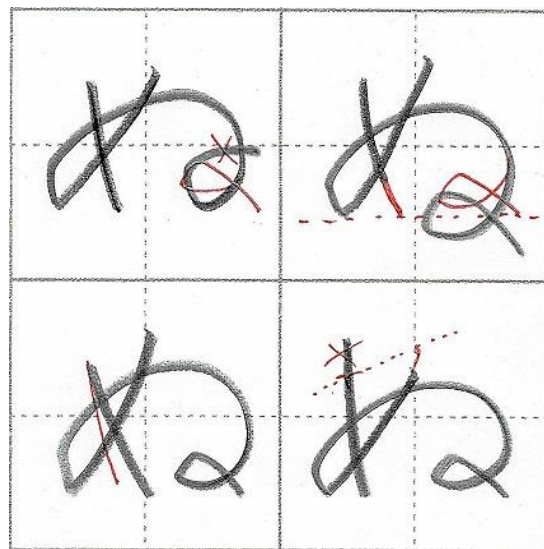
●こうならないように注意

はなく、<sup>よこなが</sup> 横長のだ円に。

◎丸めるところ、まん丸で

より左に。

◎一画目はまん中



そろえる。

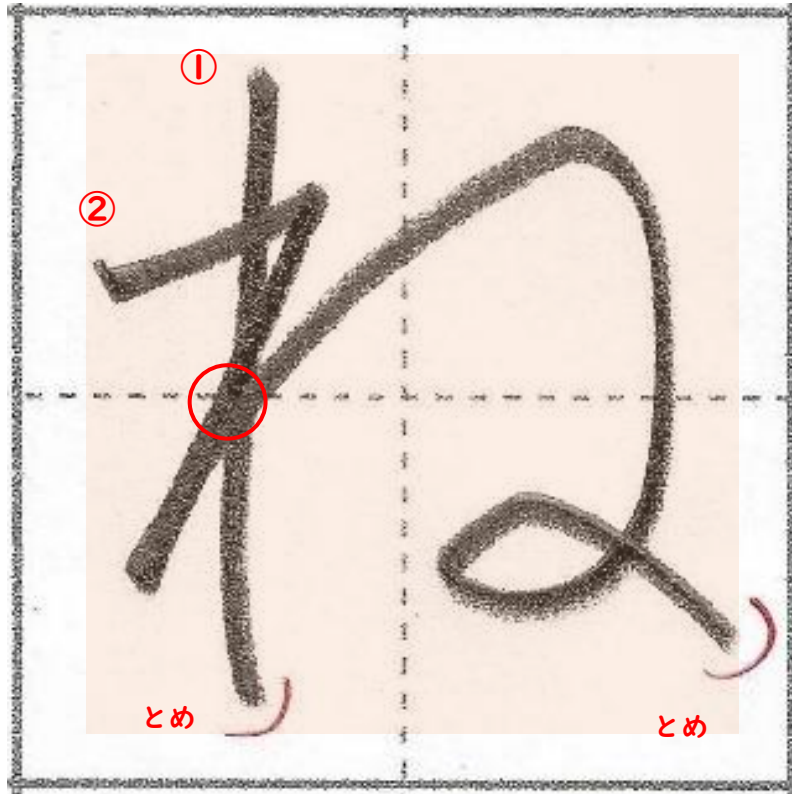
◎下の部分は、高さ

ところから書き始める

◎2画目は、一画目より高い

# 「ね」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形

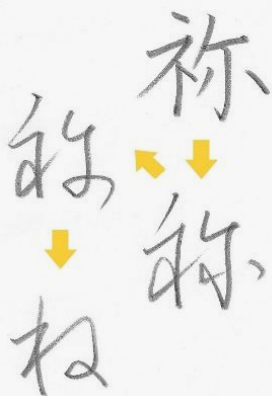


せいほうけい  
正方形

○は、マスの  
ちゆうしんせん  
中心線とだいた  
いかさ  
い重なるところ。  
ここをめあてに、  
じ <sup>かたち</sup>  
字の形をとりま  
しょう。

●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

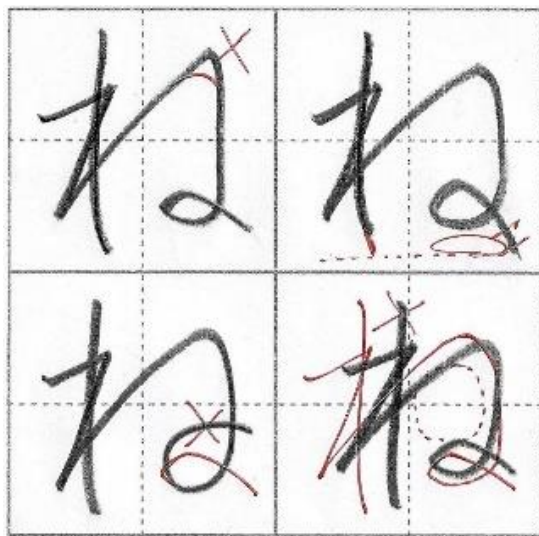
「祢」



●こうならないように注意

◎とがらないように。ゆるやかなカーブで。

◎丸めるところ、まん丸ではなく横長のだ円に



◎1画目のとめより、2画目が下がらないように。

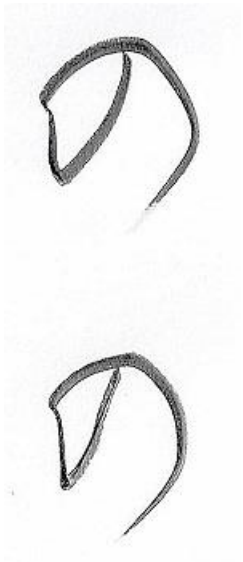
◎1画目は、まん中より左に丸めた中に空間をつくる。

◎1画目のとめより、2画目が下がらないように。

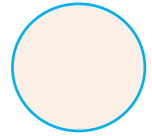
◎1画目は、まん中より左に丸めた中に空間をつくる。

# 「の」のポイント

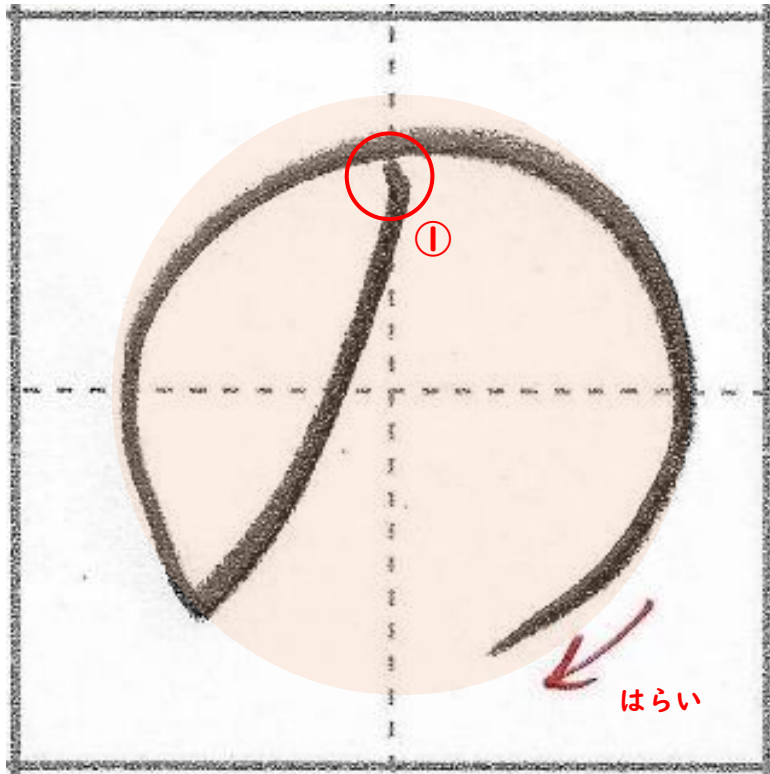
## ●くずした字



## ●全体的な形



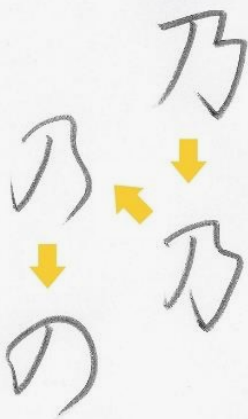
円 えん



○は、マスの  
中心線とだいた  
い重なるところ。  
ここをめあてに、  
字の形をとりま  
しょう。

## ●元になった漢字

「乃」

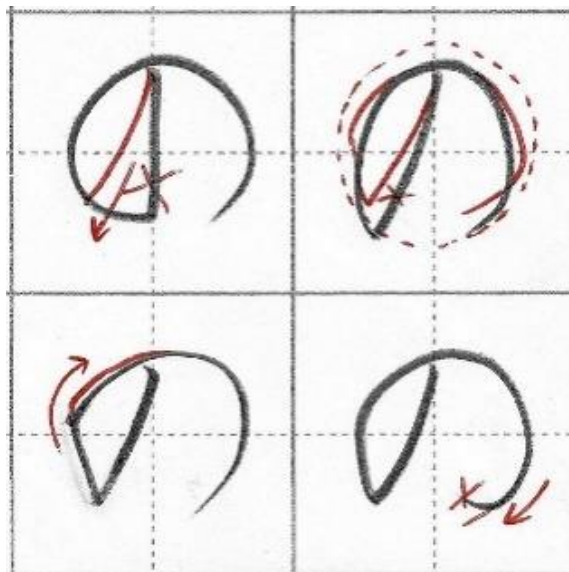


## ●こうならないように注意

く  
左下にむかう。  
ひだりした

◎書き始め、ま下ではな

◎左のカーブするところ、とがらせすぎない。



まん丸に。  
まる

◎縦長にならないよう。

かう。上にむかない。  
うえ

◎はらいは左下にお  
ひだりした